

TEAC

第63期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



ティアック株式会社

証券コード：6803



代表取締役社長
英 裕治

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、当社は平成23年3月31日をもちまして、第63期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な新興国経済に支えられ、輸出主導で回復傾向にあったものの、夏以降の急激な円高の進行や高失業率などの影響で足踏み状態が続きました。また、世界経済は、全体として回復してきているものの、その回復は緩やかなものでありました。

連結業績ハイライト

		第60期 平成20年3月期	第61期 平成21年3月期	第62期 平成22年3月期	第63期 平成23年3月期
売上高	(百万円)	61,862	51,188	40,739	36,867
営業利益	(百万円)	2,362	1,265	554	1,003
経常利益	(百万円)	1,307	134	31	348
当期純利益	(百万円)	1,332	130	64	△ 1,303
1株当たり当期純利益	(円)	5.59	0.45	0.22	△ 4.52
総資産	(百万円)	31,199	26,883	26,933	21,289
純資産	(百万円)	6,365	5,946	5,805	3,824

このような状況の中、上半期好調であったストレージデバイス事業の市況の悪化、為替環境の悪化、コンシューマオーディオ事業の不振などで、当連結会計年度の連結売上高は368億6千7百万円（前期比9.5%減）となり、新中期事業計画の初年度計画は未達となりましたが、前期との比較では減収ながらも営業利益は10億3百万円（前期比80.8%増）、経常利益は3億4千8百万円（前期経常利益3千1百万円）と大幅な増益となりました。しかしながら、次期のストレージデバイス事業の事業環境の悪化が予想される中、次期に向けての対応として、希望退職を始めとする事業再構築の実施に伴う特別損失を計上したことなどにより、当期純損失は13億3百万円（前期当期純利益6千4百万円）となりました。

配当につきましては、単体において剰余金の処分をすることができないことから、当期も無配のやむなきに至りました。株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

次期の課題と業績の見通しについて

当社グループを取り巻く環境は、国内外の経済情勢が引き続き不安定であり、また、ストレージデバイス事業の売上高が市況の悪化に伴う競争の激化による当社製品のシェアダウンにより大幅に減少することが予想されることから、適正規模の人員構成を実現し次期の業績の悪化を回避するため、希望退職者の募集等の構造改革を行うことといたしました。

また、当社は平成22年4月1日付けで組織変更を行い、組織数の削減、重層構造の解消による指揮命令系統の明確化を行っておりますが、それをさらに推進するため、平成24年3月期第2四半期より現在の4事業部体制から2事業部体制に移行し、コンシューマオーディオ事業部とプロフェッショナルオーディオ事業部を統合し、音響機器事業部とし、インフォメーションシステム事業部とストレージデバイス事業部を統合し、情報機器事業部とする予定です。

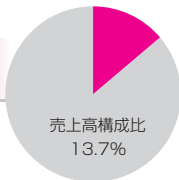
それらを反映し、次期以降の中期事業計画については見直しを行い、平成24年3月期の連結売上高は300億円、営業利益16億円、経常利益10億円、当期純利益9億円を予想しております。

引き続き全グループ社員一丸となって意識改革を推進するとともに、業績モニタリング強化による計画数値目標達成の徹底と無駄の排除を強力に推し進め、再建完了を図ってまいります。

平成23年6月

コンシューマオーディオ事業

売上高	5,039 百万円 (前期比 27.1%減)
営業損失	△446 百万円 (前期営業損失△ 267 百万円)



高級 AV 機器分野 (ESOTERIC ブランド) は、日本市場においては PC オーディオとの親和性を持たせた SACD プレーヤーのフラッグシップ機のフルモデルチェンジが好評価を受け、第3・第4四半期は営業黒字でしたが、第2四半期までの米国など海外市場での低迷が響き、通期では営業損失となりました。一般 AV 機器分野 (TEAC ブランド) では、最大市場である米国における販売が伸びませんでした。欧州は不採算商品カテゴリーの撤退により採算は回復傾向にありますが、撤退における一時的損失の発生がありました。国内は第4四半期に入り販売が回復しておりますが、コンシューマオーディオ事業全体としては前期と比較して売上高が減少し、営業損失が拡大しました。

ESOTERIC



USB メモリーへの録音や再生が可能
ラジオのタイマー予約録音にも対応した
アメリカンレトロ調ステレオ CD ラジオ

CD/USB サウンドシステム
SL-D920



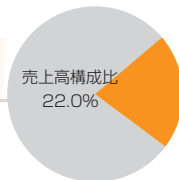
さらに進化した VRDS-NEO メカニズム
一体型スーパーオーディオ CD プレーヤーの
フラッグシップモデル
スーパーオーディオ CD プレーヤー K-01

アーチラインが映える
ラウンドフォルムデザイン
iPod/iPhone 対応サウンドシステム
SR-80i



プロフェッショナルオーディオ事業

売上高	8,094 百万円 (前期比 6.6%増)
営業利益	678 百万円 (前期比 6.4%増)



音楽制作オーディオ機器 (TASCAM ブランド) は、新製品の投入もあり、個人向け音楽制作用録音機器の販売が米国を中心に好調であること、設備市場向け業務用音響機器の販売も前期と比較して需要が回復したこと、また、放送局向け大型受注の出荷が12月より開始されたことにより、前期と比較して増収増益となりました。

TASCAM

簡単操作でプロの音質
24bit/96kHz 対応

リニア PCM レコーダー
DR-05

ギターアクセサリが詰まった
究極の練習ツール

ポータブル ギター&ベーストレーナー/レコーダー
GB-10



設備音響用ステレオレコーダーの次世代定番機
コンパクトな 1U サイズに
CF カードレコーダーと定番の CD レコーダーを凝縮
CF カード採用のステレオメモリーレコーダー
SS-CDR1



インフォメーションシステム事業

売上高構成比
13.0%売上高 4,802 百万円
(前期比 2.3%増)営業利益 39 百万円
(前期営業損失△ 542 百万円)

航空機搭載用記録再生機器の販売及び医用画像記録機器は第4四半期も販売が伸張し、前期を大きく上回る結果となりました。トランスデューサー分野ではLED用サファイア結晶製造ライン向けロードセルがLED市場の拡大に伴い伸張したこと、また、3月には車載用リチウムイオン電池製造ライン向けロードセルの大型案件の出荷が始まり、前期を上回る結果となりました。IT業界の不況もあり通話録音機器、ディスクパブリッシング事業での販売は不振でしたが、ディスクパブリッシング事業については組織改造を実施し、採算性は改善しました。ソリューション事業は介護支援個別ケアシステム（コメントケア）の新製品の開発遅れにより、前期と比較して減収減益となりました。インフォメーションシステム事業全体では前期と比較して増収増益となりました。



高解像度医用画像診断装置に最適
Blu-ray Disc™ / DVD, USB メモリーへ
高解像度録画が可能
高解像度医用動画レコーダ
UR-50BD



超小型・軽量
ひずみゲージ式トランスデューサー
圧縮型ロードセル TC-SR



小規模コールセンターや
個人事務所などの通話記録に
ネットワーク対応テレホンレコーダー
VP-101N

ストレージデバイス事業

売上高構成比
45.6%売上高 16,808 百万円
(前期比 16.5%減)営業利益 537 百万円
(前期比 23.7%減)

DVD-R/RW/RAM ドライブは、前期下半期から続いた市場需要増により、第2四半期までは好調な販売でしたが、第3四半期以降には、市場における在庫過多に端を発した価格急落の影響を受けたことにより減収となりました。DVD-ROM ドライブは、従来のスリムモデル（12.7mm 高）に加え、スーパースリムモデル（9.5mm 高）の販売が堅調に推移しましたが、DVD-R/RW/RAM ドライブの市場価格下落の影響、及びDVD-ROM ドライブの他社参入を受け減収となりました。また、フロッピーディスクドライブが販売終息を迎えたこともあり、ストレージデバイス事業全体では、前期と比較して減収減益となりました。

AV 機器用
Blu-ray Player 用ドライブ
BD-LN150



コンピューター用
DVD 記録再生用ドライブ
Slim Super Multi DVD
DV-W28S-W



コンピューター用
DVD 再生用ドライブ
9.5mm Height
Super Slim DVD-ROM
DV-18S-A



連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	17,020	22,013
現金及び預金	5,318	6,359
受取手形及び売掛金	5,107	7,706
商品及び製品	3,892	4,428
原材料及び貯蔵品	1,589	1,958
前払費用	233	303
繰延税金資産	540	723
その他	471	674
貸倒引当金	△ 132	△ 142
固定資産	4,268	4,920
有形固定資産	2,910	3,705
無形固定資産	554	404
投資その他の資産	803	810
資産合計	21,289	26,933

	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	9,725	13,112
支払手形及び買掛金	2,321	4,699
短期借入金	4,429	5,391
1年内償還予定の社債	40	80
1年内返済予定の長期借入金	15	386
リース債務	31	27
未払金	427	488
未払費用	1,053	972
未払法人税等	133	204
繰延税金負債	—	103
賞与引当金	188	142
製品保証引当金	285	357
返品調整引当金	73	101
事業構造改善引当金	587	—
その他	138	157
固定負債	7,739	8,015
負債合計	17,464	21,128
■ 純資産の部		
株主資本	8,369	9,674
資本金	6,781	6,781
資本剰余金	1,008	1,008
利益剰余金	687	1,991
自己株式	△ 106	△ 105
その他の包括利益累計額	△ 4,545	△ 3,868
純資産合計	3,824	5,805
負債及び純資産合計	21,289	26,933

Point 1 連結貸借対照表

＜総資産＞ 流動資産は現金及び預金、受取手形及び売掛金がそれぞれ減少し、固定資産はマレーシア生産子会社の事業閉鎖に伴う資産の売却により、前期末に比べ21.0%減となりました。

＜純資産＞ 当期純損失の計上による利益剰余金の減少、円高の進行による為替換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ34.1%減となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜特別損失＞ マレーシア生産子会社の事業閉鎖に伴う不動産の減損損失の発生、特別退職金の計上および次期に向けての希望退職を始めとする事業構造改善引当金繰入額、過年度特許権使用料の計上などにより、1,546百万円の特別損失を計上いたしました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞ 当期における主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額2,239百万円、たな卸資産の減少額561百万円、マイナス要因としては、仕入債務の減少額2,183百万円であります。

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期	前期
	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
売上高	36,867	40,739
売上原価	24,908	28,007
売上総利益	11,958	12,731
販売費及び一般管理費	10,955	12,176
営業利益	1,003	554
営業外収益	130	127
営業外費用	785	650
経常利益	348	31
特別利益	40	16
特別損失	1,546	262
税金等調整前当期純損失（△）	△ 1,156	△ 214
法人税、住民税及び事業税	58	86
過年度法人税等戻入額	△ 54	—
法人税等調整額	143	△ 366
少数株主損益調整前 当期純損失（△）	△ 1,303	—
当期純利益又は 当期純損失（△）	△ 1,303	64

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期	前期
	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,059	215
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,066	△ 91
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,440	△ 803
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 318	△ 92
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△ 1,765	△ 771
現金及び現金同等物期首残高	6,359	7,130
現金及び現金同等物期末残高	4,593	6,359

連結株主資本等変動計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	
平成22年3月31日残高	6,781	1,008	1,991	△ 105	9,674	63	△ 3,932	△ 3,868	5,805
当期変動額									
当期純損失（△）			△ 1,303		△ 1,303				△ 1,303
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						36	△ 712	△ 676	△ 676
当期変動額合計	—	—	△ 1,303	△ 0	△ 1,304	36	△ 712	△ 676	△ 1,981
平成23年3月31日残高	6,781	1,008	687	△ 106	8,369	99	△ 4,645	△ 4,545	3,824

貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当期 平成23年3月31日現在		当期 平成23年3月31日現在
■ 資産の部		■ 負債の部	
流動資産	11,863	流動負債	10,971
現金及び預金	3,910	支払手形	599
受取手形	47	買掛金	1,223
売掛金	4,816	短期借入金	7,403
商品	1,527	1年内償還予定の社債	40
原材料	627	1年内返済予定の長期借入金	15
前渡金	4	リース債務	27
前払費用	143	未払金	380
繰延税金資産	86	未払費用	449
関係会社短期貸付金	495	未払法人税等	31
未収入金	715	前受金	17
その他	7	預り金	56
貸倒引当金	△ 519	賞与引当金	126
固定資産	12,683	製品保証引当金	86
有形固定資産	1,964	返品調整引当金	25
無形固定資産	61	事業構造改善引当金	444
投資その他の資産	10,657	その他	40
資産合計	24,547	固定負債	7,275
		負債合計	18,247
		■ 純資産の部	
		株主資本	6,199
		資本金	6,781
		資本剰余金	1,008
		利益剰余金	△ 1,482
		自己株式	△ 106
		評価・換算差額等	99
		純資産合計	6,299
		負債及び純資産合計	24,547

損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
売上高	28,769
売上原価	20,925
返品調整引当金戻入額	14
売上総利益	7,858
販売費及び一般管理費	7,432
営業利益	425
営業外収益	773
営業外費用	410
経常利益	788
特別損失	1,557
税引前当期純損失（△）	△ 769
法人税、住民税及び事業税	△ 86
法人税等調整額	278
当期純損失（△）	△ 961

株主資本等変動計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式			
平成22年3月31日残高	6,781	1,008	△ 520	△ 105	7,162	63	7,226
当期変動額							
当期純損失（△）			△ 961		△ 961		△ 961
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						36	36
当期変動額合計	—	—	△ 961	△ 0	△ 962	36	△ 926
平成23年3月31日残高	6,781	1,008	△ 1,482	△ 106	6,199	99	6,299

TASCAM

プロの音質にこだわるリニア PCM レコーダー “DR シリーズ” がさらに進化

プロ・業務用音響機器で培ったノウハウを活かし、プロの音質を手のひらサイズで実現する TASCAM のリニア PCM レコーダー “DR シリーズ”。2008 年 2 月に発売したシリーズ最初の『DR-1』は、一般ユーザーからの高い支持を得て「価格.com プロダクトアワード 2008」を受賞。

以来、毎年新たな 2 機種を発表し、ユーザーの期待に応える製品で、成長する IC レコーダー市場を牽引する地位を確立しています。

今年 3 月に発売開始した最新機種『DR-05』および『DR-07MKII』は、楽器やバンド演奏、電車や自然音など、様々な録音シーンを細部まで分析して開発。さらに、バッテリー動作時間も飛躍的に改良。高音質録音とコストパフォーマンスを両立する新たな 2 機種が加わり、着実に進化する TASCAM “DR シリーズ” です。



DR-05
2011 年 3 月発売



DR-07MKII
2011 年 3 月発売

参考：歴代機種 / 発売時期



DR-1
2008/2
(生産終了)

GT-R1
2008/8

DR-07
2009/1
(生産終了)

DR-100
2009/3

DR-2d
2010/2

DR-08
2010/2

TEAC

好評『ラジレコ R-6』の販売網が 有力カタログ通販まで拡張

既存ラジオのイメージを大きく変える高音質と、ラジオ愛好家のニーズに適確に応える機能とデザインを装備した AM/FM ラジオレコーダー『ラジレコ R-6』。2010 年 10 月発売以後、「サライ」をはじめとする雑誌や新聞各紙で紹介されました。“ラジオ深夜便” (NHK) 読者向けプレゼント企画では、応募数 1 万件のうち半数が本製品に集中。全国主要書店に加え、今年春からは複数の有力カタログ通販へと販売網を拡張し、新たな顧客層の開拓が期待されます。



スーパーオーディオ CD プレーヤー 『K-01』オーディオ賞受賞

エソテリックが誇るメカトロニクス技術、最先端オーディオテクノロジーのノウハウを全て投入して完成したフラッグシップモデル『K-01』が数々の名譽あるオーディオ賞を受賞しました。「安心して長く使えるデジタルプレーヤーを探している人にとって有力な候補になる製品」と評価をいただきました。



ESOTERIC

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地
 設立 昭和 28 年 (1953 年) 8 月 26 日
 資本金 67 億 8,105 万 8,352 円
 事業年度 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 457 名 連結 1,947 名

● 主なグループ事業内容

コンシューマオーディオ事業

高級 AV 機器
 一般 AV 機器

プロフェッショナルオーディオ事業

音楽制作オーディオ機器
 特殊イヤホン機器

インフォメーションシステム事業

航空機搭載用記録再生機器
 医用画像記録機器
 計測機器 (トランスデューサー、データレコーダー)
 通話録音機器
 ソリューションビジネス
 介護支援個別ケアシステム
 ディスクパブリッシング機器

ストレージデバイス事業

コンピューター周辺機器
 民生用および産業用製品向けドライブ

● オリジナルブランド

ティアック、タスカム、エソテリック

■ 役員 (平成 23 年 6 月 23 日現在)

代表取締役社長 英 裕治
 取締役 野村 佳秀
 取締役 吉田 啓介
 取締役 椎原 祥一朗
 取締役 中尾 光成
 取締役 前野 龍三
 常勤監査役 牧野 信明
 監査役 平岡 繁
 監査役 原 琢己

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp>

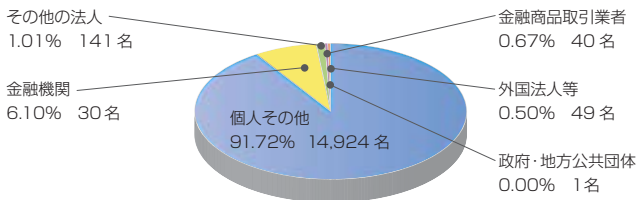
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式の総数	289,317,134 株
株主数	15,185 名

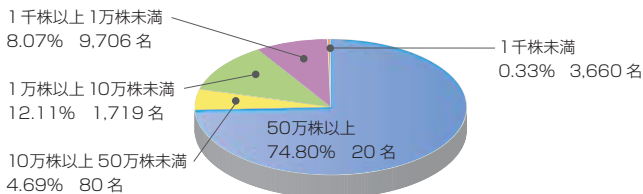
大株主（上位 10 名）

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
フェニックス・キャピタル・ パートナーズ・ワン投資事業組合	177,063	61.20
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	18,000	6.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
明治安田生命保険相互会社	2,201	0.76
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,551	0.53
ティアック社員持株会	1,378	0.47
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42
ティアック取引先持株会	1,167	0.40

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-7111（通話料無料）

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本経済新聞
に公告します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

■ ティアックストアのご紹介 ■

当社が製造する製品や輸入代理店として扱っている製品を販売しています。



< 取り扱いブランド >

TEAC
TASCAM

in**Core**

Filltune

beyerdynamic))))

KOSS

DRAWMER



ティアックストア 検索



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス http://www.teac.co.jp

